

スカウト兵庫

2017
No.3
5

ビーバーまつり特集
“神戸、淡路 地区”
地区紹介
“神戸、淡路、はりま 地区”



特集

富士スカウトを讃える会

“平成 28 年度 富士スカウト～”



富士スカウト章を受章された皆さん、おめでとうございます。富士スカウト章とは、あなたがこれまで積極的にスカウティングに取り組んだ成果です。ここまで支え、ご指導してこられた指導者の皆様に感謝と敬意を表します。保護者の皆様におかれましては、我が子の成長に感慨ひとしおのことでしょう。本年度は、10名の富士スカウトが誕生しました。それぞれが、自分の興味あることを企画し、実践し、1つの成果としてまとめあげました。また活動において苦手とするところに立ち向かって克服してきました。それこそが、ベンチャー活動であり、成し遂げた者が富士スカウトとなるのです。あなたが得た経験は今後の人生において、間違いなく役に立つと確信しています。

皆様は、隊・団を始め、地区・県・日本・世界を視野に、大きく羽ばたくスタートラインに立ちました。後輩に常に目標とされる存在として活躍してください。富士スカウトとして真摯に、自己犠牲を厭わない姿が後に続く人々を導くのです。今後のご活躍に期待しています。

Look wider still!

兵庫連盟副コミッショナー 藤尾 盛二郎

表紙写真(上):平成 28 年度富士スカウト表敬訪問

～ 平成 29 年 3 月 27 日 首相官邸にて ～

【代表スカウト決意のことは】

西宮第 10 団 チャオ岡田 直美

表紙写真(下):平成 28 年度富士スカウトを講える会

富士章受章スカウトの今後の抱負



私は富士章取得のプロジェクトでジュニアリーダーをやらせて頂きました。具体的な内容としては団のカブ隊への指導です。その際は沢山のリーダーの方々から助けて頂きなんとか成功することができました。そして今、私はカブ隊の副長補として活動しております。以前はベンチャースカウトだったので色々な方に助けて頂くこともできました。しかし今後は自らの力で解決していき、立派な指導者になれるよう努めてまいります。

西宮第 10 団 橋本 真依

平成 28 年度に富士章を取らせていただくことになりました西宮第 22 団の政所と申します。富士章をとった後の抱負ということですが、これまでお世話になった指導者の皆様、団に恩返しをするという意味でも自団の後輩スカウトの育成を頑張りたいと思っています。また、もちろんローバースカウトとしても自分の興味のある活動を行っていきたいと思っています。

西宮第 22 団 政所 重智



式次第

【顕彰式】

- ・開会のことは
- ・国旗儀礼
- ・「君が代」斉唱
- ・物故者への黙祷（中島 佳一 副理事長）
- ・おきて唱和（木下 秀平 スカウト）
- ・兵庫連盟代表挨拶（鈴木 武 理事長）
- ・来賓紹介
- ・来賓代表挨拶（有本 方子 兵庫県企画県民部女性青少年局長）
- ・富士章記念盾 及び 県知事色紙授与
- ・激励のことは（森地 一夫 県連盟コミッショナー）
- ・代表スカウトお礼のことは（チャオ岡田 直美 スカウト）
- ・弥栄三唱（藤尾 盛二郎 県連盟副コミッショナー）
- ・「光の路」斉唱
- ・国旗儀礼
- ・閉会のことは

富士スカウトの面接には全て出席してきたが、その際に「小学校の低学年から今までスカウト活動を続けてきた原動力は何か？」という質問を必ずしている。その答えとして最も多いのは「支援してきてもらった隊指導者のおかげ」という感謝の気持ちである。富士スカウトとは教育規定によると「スカウトの最高位である富士スカウトは、ベンチャースカウト活動の目標を達成し、社会の一員としての自律と責任、公共心を備えた、より良き公民となれるスカウトである。」となっている。「よりよき公民となれる」ということは、まだゴールではなく富士スカウトとなった君たちの今後の活躍に期待する。ボーイスカウト活動においては、これからローバースカウト、若きリーダーとしての活躍を期待している。

兵庫連盟理事長 鈴木 武

幼少から続けて来たスカウト活動の中で富士章を取得し、団の中での自分の役割、社会の中でのボーイスカウトの役割というものを考える機会がとて増えたように感じます。

私はスカウト活動を通して、学校や社会に出ても役立つスキルを多く学びました。これらは私の人格形成に大いに役立っています。今後、私は培ったスキルを最大限生かし、集団を良い方向に導く人間になりたいと考えています。

そして、私をここまで育てて下さった、神戸第57団の指導者となりスカウト自身が楽しみながら、率先して活動できる環境作りを手伝えたらと思っています。

神戸第57団 村上 昌義



私はボーイスカウトに入隊してからこれまで、ちかいやおきて、そなえよつねに等、様々な文字を目にしてきました。初めの頃はよく意味もわからず唱和していたものもありましたが、こうして富士章を取得するまでの過程であらゆる活動を経験し、その中で身をもって、それらの言葉のひとつひとつの意味を学ぶことができました。これが認められ、富士章を取得することができましたが、本番はこれからです。今後は、この経験や知識をどのように社会へ活かせるのかを自分なりに考え、社会に貢献していくと共に、さらに学んで自分を磨き上げていきたいと思っています。また、この学びや喜びを後輩達にも共有できるように、自己研鑽と育成に尽力します。

神戸第58団 松永 慶太郎

今後の抱負として、他隊への積極的な奉仕と自己研鑽を二本柱に活動していきたい。今年の春から副長補として他隊へ奉仕し、更なる野営スキルの向上と心身の成長を目的とし励んでいきたい。

また、ベンチャー隊からローバー隊へと移ることで、ベンチャーよりさらに自由な活動が展開できるようになった。今後、自己研鑽として、富士登山などの高度な野外活動に挑戦していきたい。

尼崎第14団 木下 秀平



今後の目標は、団や地区、社会へ奉仕活動をするとともに、ボーイ隊のスカウトハンドブックをやり直すことです。ベンチャー隊としてスカウト活動に復帰してからずっと自分の技能の低さに後ろめたさを感じてきました。次に進むためにも、一度戻って基礎をしっかりと固めたいと思います。

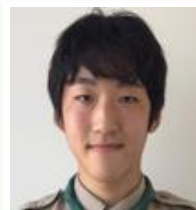
私の遠い将来の目標は、子供たちが自由に自然の中で遊べるような幼稚園をつくることです。いつかボーイスカウトで学んだことを総動員して自分の手で作り上げたいと考えています。

西宮第10団 チャオ岡田 直美



私は富士章をとる際のプロジェクト内で、公共の施設と交渉をするということがありました。その時に冷たく断られることが多々あり、社会の厳しさやルールを学ぶことができました。このような経験をしている人は同年代で見るとほとんどいないのではないかと思います。今後は、一足先に社会を経験し学んだことを自信として、スカウト活動を続けていきたいと思っています。そして他のスカウトはもちろん、一般の人にも尊敬されるようなスカウトを目指します。

西宮第3団 山田 開



私がまだボーイ時代の頃、先輩スカウトから世界ジャンボリーの土産話を聞かせてもらった。その時、将来自分もこうなりたいという純粋な憧れを抱いたからこそ、私はここまで続けてこれたように思う。私はスカウト活動の幅広さやこの年代でしか味わえない活動の楽しさを後輩スカウト、保護者の方々に知ってもらい、保護者の方々には改めてスカウト活動の良さに気付いてもらい、スカウトたちには昔の私のように、ベンチャー世代の活動に憧れを抱いてもらえるような活動を展開していきたい。また私自身、これからも積極的に国際事業に参加し、見聞を広め、また将来的にはもっと多くのスカウトに広い世界を知ってもらえるような海外事業企画もしていきたいと思う。そして最終的には国際平和に携わる人になり、社会に恩返しができるようになりたい。

神戸第43団 小林 千乃



今回、富士章を取りました尼崎第7団の平塚晴菜です。この富士章受章にあたり、たくさんの方々の助けがあったことに深く感謝します。そしてこれからは指導者になるための自覚と責任を身につけていきたいと思うとともに、もっとボーイスカウトを広めていきたいと考えています。また、個人のスキルアップは私の永遠の課題です。

「自分は富士スカウトだ」ということを肝に銘じ、これからも日々頑張っていきたいと思っています。

尼崎第7団 平塚 晴菜



初めましての皆様も、こいつなんか知ってるぞ！という皆様もこんにちは！（笑）神戸第54団の中村悠乃です。なんとか富士章という名誉ある章まで辿り着くことが出来ました。支えて下さった、たくさんの方々に感謝とお礼を申し上げますと共に、今後は富士章に相応しい人間だと認めていただくために、スカウティング活動や自分の進路に関する目標の達成に向かって敢！え！て！茨の道を進み続けていきたいと思っています（笑）今後とも様々な場面でお世話になるかと思いますが、よろしくお願い致します。

神戸第54団 中村 悠乃



国際性豊かなボーイスカウト運動

平成 28 年度オーストラリア・スカウト短期交換留学・ホストファミリー報告
 日時：平成 28 年 11 月 28 日～平成 29 年 1 月 14 日の 49 日間

日本連盟は部門別に様々な海外派遣を取り揃えています。このオーストラリア短期留学派遣は、交換留学をスカウトプログラムとして実施するものです。夏は豪州に行き、冬は派遣員宅に豪州スカウトを招き、学校にも通うというものです。言わば、ホームとアウェイの両方で相互理解、友情、親善などを深めるものです。ベンチャースカウトの皆さん、勇気を出して挑戦してみてください！

国際委員長 清水 秀彦



今年の冬、私の家にタスマニアからリリアンという女の子がホームステイにやってきました。

ホームステイのお誘いを受けた時から、私達家族は来るのをとても楽しみにしていました。誰も英語を上手く話せるわけではなかったのですが、私がオーストラリアに行った時にとってもいい思い出を作ることができました。それを、他の誰かにもおすそ分けしたいと思っていたので、とても光栄なことだと思ひ受けました。

ホストファミリーになり困ったことは本当に何もありませんでした！どちらかというと、私達のほうが楽しませてもらった気がしています。妹や弟と遊んでくれたり、一緒にご飯を作ったり、英語の宿題を手伝ってもらったりしました。私達が気を遣うこともなかったですし、リリアンも初日からうちのリビングでくつろいでくれていました。

強いて言うなら、リリアンの英語がなまっていたことに少し戸惑いましたが、そのおかげで今までよりもリスニング力を UP させることが出来ました！

ホストファミリーになることはもっと難しいことかと思いましたが、リリアンの優しい人柄のお陰もあって、とても良い経験にすることが出来ました。

今回、こんな風に海外の人と長く一緒にいることが出来て色々なことを改めて実感することができました。英語の大切さはもちろんのことなのかもしれませんが、それ以前に、その気持ちを伝えようとする強い心があればどうにかなるということです。ひとり部屋を渡せなくても、英語が喋れなくてもどうにかできました！もしいつかホストファミリーになる機会があれば、是非チャレンジして欲しいです！

日本ボーイスカウト姫路第16団
 ベンチャー隊 増田 桃乃





ビーバーまつり特集



神戸地区

地区ビーバーまつり

平成28年11月13日(日) 神戸市立再度公園



平成28年11月13日に六甲山中腹にある再度公園にてビーバーまつりを実施しました。スカウト85名、体験者13名、リーダー44名、保護者45名、地区役員等8名、合計195名の参加がありました。秋の紅葉シーズンで多くの行楽客の目にもとまり、PRになりました。

普段では体験できない大きな輪にみんなびっくり！
記念品も喜んで早速リュックに付けていました。



淡路地区

地区ビーバーまつり

平成28年11月13日(日) 国立淡路青少年交流の家(南あわじ市)

11月13日(日)、兵庫県の南端(南あわじ市阿万塩屋)にある青少年交流の家で、地区振興大会の後、ビーバー祭りを開催しました。スカウトコーナーでの竹馬遊びやバルーンアート、また淡路うずしおフェスティバルでの〇×クイズやポイントラリー等々にビーバースカウト達は元気に挑戦しました。三原第1団から参加した谷本祐莉ちゃんは、「楽しかった!」と話していました。



【〇×クイズ】



【ポイントラリー】



【鬼ごっこ】



かもめんマスコットキャラクター

神戸地区



神戸地区は、平成24年4月に、旧東灘地区、旧神戸地区、旧神戸北地区、旧神戸中地区の4つの地区が合併した新しい神戸地区です。現在 22 ケ団、1100 名が活動しております。今年の4月9日はしあわせの村で結成5周年記念式典を開催し 664 名の参加があり、「ポケスカGO」ゲームを実施して地区内のスカウトの交流を深めました。



笠原地区委員長



淡路地区

淡路地区は、県下に10地区あるうち、最南端に位置するわずか3団しかない最小の地区です。しかし、組織率は高く、地域密着型の活動を展開しています。

昨年は11月13日(日)に南あわじ市の青少年交流の家で、地区振興大会を開催しました。地区内のスカウトが一堂に会する数少ない機会、みんなで楽しい交流の時間をもちました。その時に、三原第3団に団50年章の旗が手渡されました。

しかし、残念なことに三原第3団は、29年度から休団することになってしまいました。

淡路島は、豊かな自然は言うまでもなく、近年、「アワイチ」と呼ばれる「淡路一周サイクリング」が大人気！スカウト活動の場として、淡路島を活用してみても如何？



【三原第3団に団50年章を授与】



はりま地区

はりま地区は、県下最長の一級河川加古川水系の河川流域、および東経 135 度の子午線上に位置する東播磨・北播磨・丹波地域の 9 市 3 町に 14 個団を有し、約 700 名のスカウト・指導者が活動しています。

臨海・都市部から内陸部まで、自然に恵まれた地域でもあり、自団のキャンプ場を有している団も多く、キャンプのみならず、さまざまな活動ができる体制を整えています。

はりま地区ホームページもご覧下さい。 <http://www.bs-harima.jp/>



全国高等学校女子硬式野球選手権大会



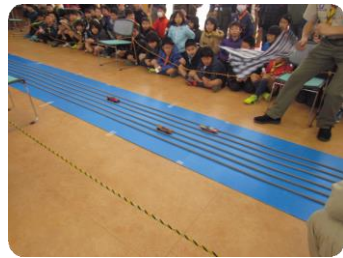
JOTI に地区として参加



丹波ふれあいフェスティバル



第 1 回はりま地区パインウッドダービー (PWD) 大会



な ろ う い ち に ん ま え に



なろう。一人前に。

一人前って意外とむずかしい。

自分のことは自分です。
困難に立ち向かえる。
こまってる人の助けになる。

そんな自分になるために。そなえよつねに“ボーイスカウト”。

楽しく子育て！
お父さんお母さん必見！
「一人前かるた」 動画公開！
入園・入学シーズン到来！

新しい環境で知らない子たちに
囲まれて過ごすわが子が気になる
保護者必見！

子どもたちが少しでも早く”一人前”になって、楽しく生活を送れるように、”一人前になるための要素”が詰まった動画『一人前かるた』を公開しました。

お子様と保護者の方で一緒にご視聴いただき、かるたで楽しく”一人前”になれる要素をとおして、ボーイスカウトに興味をおもちいただければ幸いです。

<https://www.scout.or.jp/entry/>

平成28年度 富士・隼・菊章
取得者を紹介します



富士章

前号～現在

尼崎第 7 団 平塚 晴菜
神戸第 54 団 中村 悠乃
龍野第 1 団 井上 晴太
宝塚第 6 団 辰巳 貴弘
以上：8名（年度合計）



隼章

前号～現在

西宮第 22 団 増澤 康二
尼崎第 26 団 高橋 瑞帆
尼崎第 26 団 平井 一輝
以上：13名（年度合計）



菊章

前号～現在

神戸第 8 団 金吉 真敬
西宮第 10 団 宗林 咲智
西宮第 10 団 小泉 智弘
西宮第 20 団 杉本 奈津
伊丹第 5 団 松本 海杏
姫路第 16 団 藤原 弥侑
姫路第 6 団 上田 丈洋
西宮第 1 団 矢野 百花
西宮第 10 団 田桑 一啓
西宮第 11 団 中本 九斗
西宮第 25 団 三重野 淳也
姫路第 6 団 酒井 了
姫路第 6 団 山口 璃音
姫路第 6 団 上田 ひより
伊丹第 5 団 竹内 愛佳
篠山第 1 団 月森 公貴

菊章

尼崎第 14 団 横山 祥太郎
尼崎第 14 団 中村 颯太
豊岡第 2 団 垣谷 幸之介
相生第 4 団 的場 優
相生第 4 団 原 愛佳
相生第 4 団 遠藤 七海
西宮第 21 団 松本 明日香
神戸第 28 団 平間 沙綺
神戸第 54 団 石崎 海
神戸第 54 団 桑本 悠史
神戸第 54 団 岩壺 拓真
神戸第 54 団 中島 航太
神戸第 58 団 池田 雄紀
明石第 5 団 諸星 若
以上：53名（年度合計）

【事務局ニュース】

◇県連盟定時総会

日時：平成 29 年 5 月 14 日(日)午後 1:00～

場所：神戸クリスタルビル 3 階ホール

内容：表彰、総会（平成 28 年報告、平成 29 年計画等）

◇ボーイ・ベンチャー進級課程の改定説明会

日時：平成 29 年 5 月 14 日(日)午前 10:00～12:00

場所：神戸クリスタルビル 3 階ホール

◇全国大会の参加案内

日時：平成 29 年 5 月 27 日(土)午後 0:30～

28 日(日)午前 11:30

場所：鳥取県鳥取市とりぎん会館

◇青少年社会貢献活動認定制度の新年度募集について

平成 29 年度も昨年同様のテーマ「青少年教育活動(ボーイスカウト)のリーダーを務め地域社会に貢献する事業」として申請しましたので、高校生年代から社会人になる前の青少年のプログラムとしてご利用ください。1 年後に修了証が授与されます。

◇兵庫県青少年本部事業の「ひょうごっ子・ふるさと塾」補助金の募集について

募集案内資料は、地区へお送りしています。

兵庫県青少年本部の補助金事業「ひょうごっ子・ふるさと塾」の募集をボーイスカウトで 10 件程度応募したいと考えています。各地区で 1 ケ団のお申し込みができますので「ふるさと意識の醸成」を目的に地域の子もたちや地域の人たちとの交流や体験入隊などを開催する費用としてお申し込みください。補助金額は、1 件 25 万円です。申請方法やプログラム例等はこちらで紹介しますので多数お申込み下さい。

◇合同野営大会報告書&第 23 回カブラリー報告書

各団へ 2 種各 1 冊をお送りしました。団内でご活用の上、スカウト活動の活性化にご利用ください。

◇ボーイ・ベンチャープログラム研修会

日時：平成 29 年 6 月 18 日(日)午前 10:00～

場所：のじぎく会館

編集後記

△第 3 号で編集も県下各地区を巡りました。編集を通して、過去の振り返りのみならず、自分の見えない活動をも見ることができ、貴重な体験をすることができました。この機関誌が広報・組織拡充に大きく寄与することを祈念致します。

はりま地区

下門 篤弘

△何をどのようなことを伝えるのか、改めて難しいと痛感いたしました。

神戸地区

岡田 哲

△編集に当たって、多くの方々に多大なご協力をいただきました。ただただ感謝です。

淡路地区

岸上 敏之

公益財団法人 ボーイスカウト日本連盟
コミュニケーションロゴについて

コミュニケーションロゴは、日本におけるスカウト運動の統一のイメージを示すもので、ボーイスカウトの広報活動や組織拡充活動等に使用するものです。なお、日本連盟加盟員の方が普及資料や団等の機関誌、名刺、ホームページ等でガイドに従い使用する場合は、許可申請を必要としません。ダウンロードの上、ご利用できます。



そなえよつねに
ボーイスカウト